

VPN 利用の実態調査を実施、約 9 割がセキュリティに不安

～ランサムウェア問題を背景に、安全性や管理面での課題感も浮き彫りに～

e-Jan ネットワークス株式会社（本社所在地：東京都千代田区、代表取締役：坂本 史郎）は、企業におけるリモート接続環境の課題を明らかにするため、IT 管理者・情報システム担当者・DX 推進部門の担当者 1,011 名を対象に「VPN 利用実態とセキュリティ対策」に関する調査を実施しました。調査の結果、現行の VPN では安全性と管理の両方に大きな課題が残されていることが明らかになりました。



■ 調査の背景

近年、ランサムウェアによるサイバー攻撃の被害件数が増加しており、企業、公共機関にとって最も深刻な脅威の一つとなっています。ランサムウェアに感染した企業や公共機関では、システムが停止し業務継続が困難となり、社会全体に深刻な影響を及ぼしています。企業、公共機関では、ランサムウェアへの対策が急務となっています。

ランサムウェアの感染経路の一つに「VPN 等のネットワーク機器の脆弱性を起点とする攻撃」が挙げられます。ランサムウェア被害にあった企業・団体へのアンケート回答によると、近年その全体比は半数を超えており（※1）、情報システム管理者の VPN への不安を高めています。

当社は 20 年以上にわたりリモートアクセスサービスを提供してきた知見を活かし、VPN 利用における現状と課題を把握するため、本調査を実施しました。

■ 調査結果サマリー

1. 導入している VPN は「クラウド VPN（52.5%）」が最多で、「従来型 VPN（46.9%）」を上回る
2. 「VPN 利用中にセキュリティ面で不安を感じた経験がある」回答は約 9 割
3. 導入時に重視されるのは「セキュリティの高さ（34.4%）」「管理のしやすさ（27.2%）」「導入・設定の簡単さ（25.2%）」
4. 約 9 割が「従来よりセキュリティリスクを低減し、管理が容易な VPN があれば導入を検討したい」と回答

■ 調査の結果

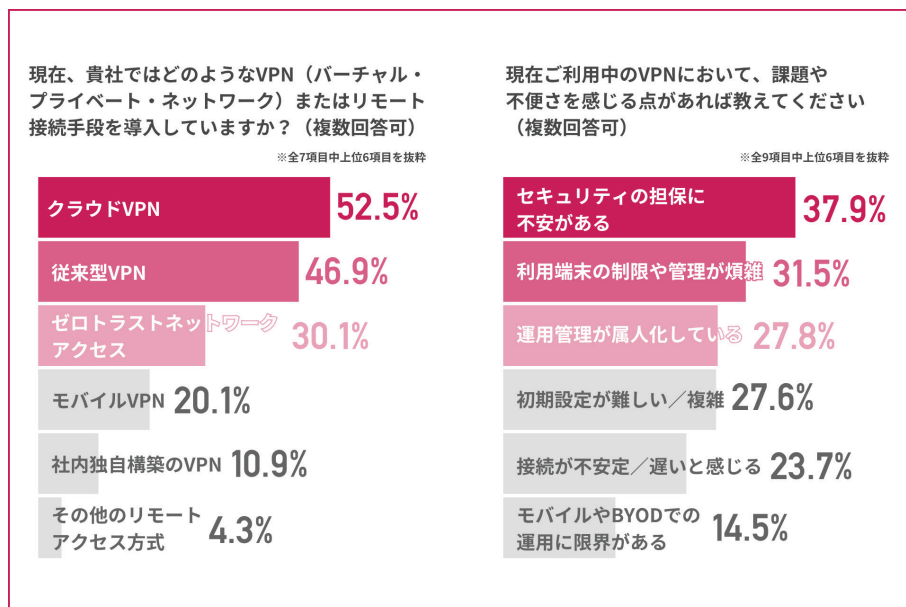
・ 現在、導入している VPN またはリモート接続手段

導入済みのリモート接続手段について尋ねたところ、「クラウド VPN（52.5%）」が最多となり、「従来型 VPN（46.9%）」「ゼロトラストネットワークアクセス（30.1%）」と続きました。クラウド型の採用が広がる一方で、新たな接続方式であるゼロトラストも 3 割に達しており、接続手段の選択肢が多様化していることがわかりました。（図表 1）

・ 現在利用している VPN において感じている課題

現在利用している VPN における課題では、「セキュリティの担保に不安がある（37.9%）」が最も多く、次いで「利用端末の制御や管理が煩雑（31.5%）」「運用管理が属人化している（27.8%）」といった声が挙がりました。セキュリティ面への懸念と管理工数の増大が、現場で大きな負担となっていることがうかがえます。（図表 1）

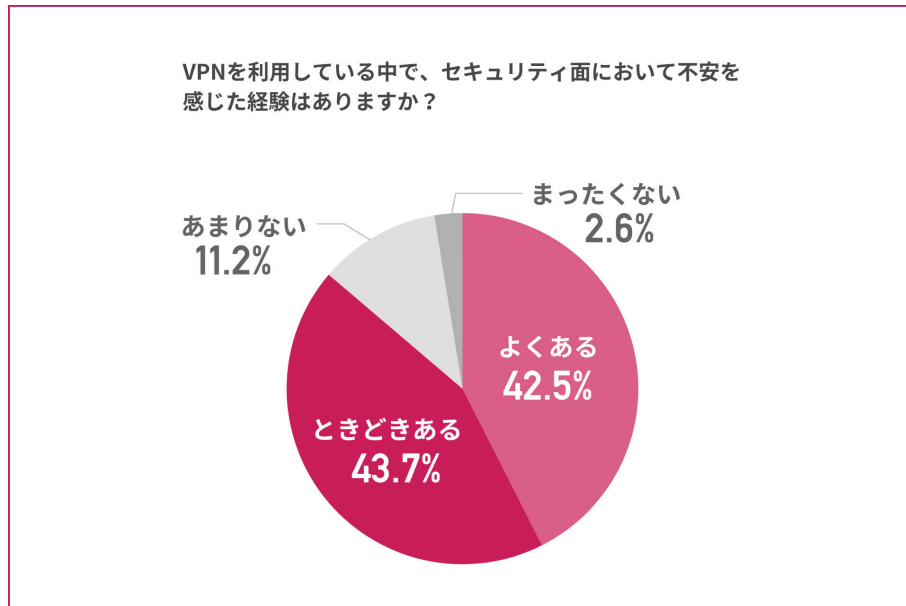
【図表 1：企業における導入済み VPN 種別と利用上の課題】



・ VPN 利用中、約 9 割がセキュリティ不安を経験

「VPN 利用中にセキュリティ面で不安を感じた経験があるか」という問いに対して、『よくある（42.5%）』『ときどきある（43.7%）』と、約 9 割が不安を感じた経験があると回答しました。セキュリティリスクへの懸念は依然根強いことが示されました。（図表 2）

【図表 2：VPN 利用時のセキュリティ不安】



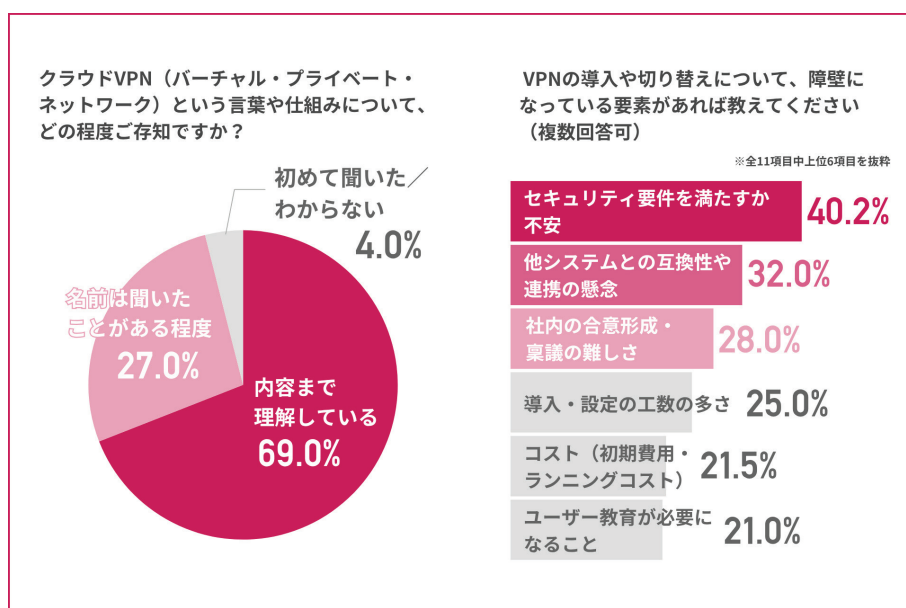
・クラウド VPN という言葉や仕組みの認知度

クラウド VPN の認知度については、「内容まで理解している」が 69.0%に達し、「名前は聞いたことがある程度」が 27.0%、「初めて聞いた/わからない」は 4.0%という結果となりました。比較的新しい方式でありながら、すでに 7 割近くが仕組みを理解していることから、市場における浸透の速さが示されています。（図表 3）

・VPN 導入・切替における障壁となる要素

VPN の導入や切替における障壁については、「セキュリティ要件を満たすか不安（40.2%）」が最多であり、「他システムとの互換性や連携の懸念（32.0%）」「社内の合意形成や稟議の難しさ（28.0%）」と続きました。導入には技術的な要因だけでなく、組織的な調整の難しさが大きな障壁となっていることが明らかになりました。（図表 3）

【図表 3：クラウド VPN 認知度、VPN 導入・切替における障壁要素】



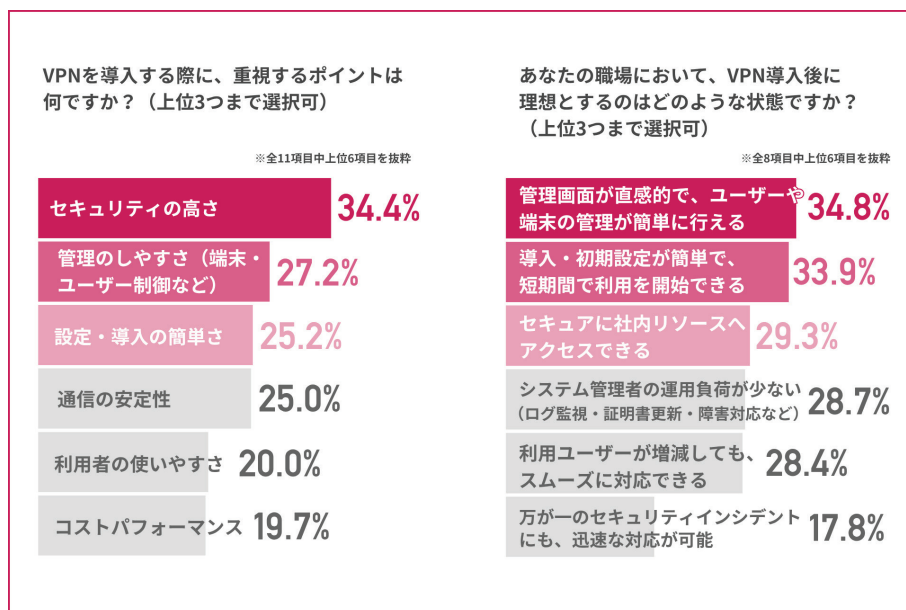
・VPN 導入時に重視するポイント

VPN を導入する際に重視されるポイントは、「セキュリティの高さ（34.4%）」が最も多く、「管理のしやすさ（27.2%）」「設定・導入の簡単さ（25.2%）」が続きました。安全性とともに利便性や運用のしやすさも強く意識されており、「守る力」と「使いやすさ」の両立が求められていることがわかります。（図表 4）

・VPN 導入後に理想とする状態

VPN 導入後に理想とする状態としては、「直感的な管理画面でユーザーや端末を簡単に制御できる（34.8%）」「導入・初期設定が容易で短期間で利用を開始できる（33.9%）」「セキュアに社内リソースへアクセスできる（29.3%）」といった回答が上位となりました。導入のしやすさと運用負荷の軽減が、現場における切実な要望であることが明らかになりました。（図表 4）

【図表 4：VPN 導入時の重視ポイントと導入後の期待】



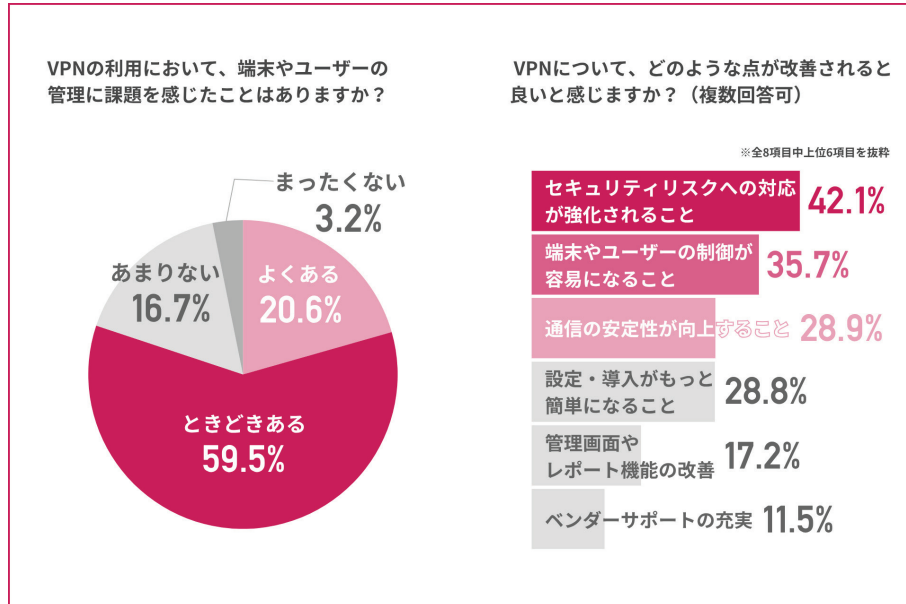
・VPN 利用における端末・ユーザー管理の課題経験

VPN 利用における端末やユーザー管理について課題を感じた経験があるかを尋ねたところ、「よくある（20.6%）」「ときどきある（59.5%）」を合わせて約 8 割にのびりました。利用端末の多様化やリモート環境の拡大が、管理の難しさをより深刻にしていると考えられます。（図表 5）

・VPN に関して改善されると良い点

VPN の改善点としては、「セキュリティリスクへの対応が強化されること（42.1%）」が最も多く、次いで「端末やユーザー制御が容易になること（35.7%）」「通信の安定性が向上すること（28.9%）」が続きました。現場では特にセキュリティと管理性に強い課題意識があることがうかがえます。（図表 5）

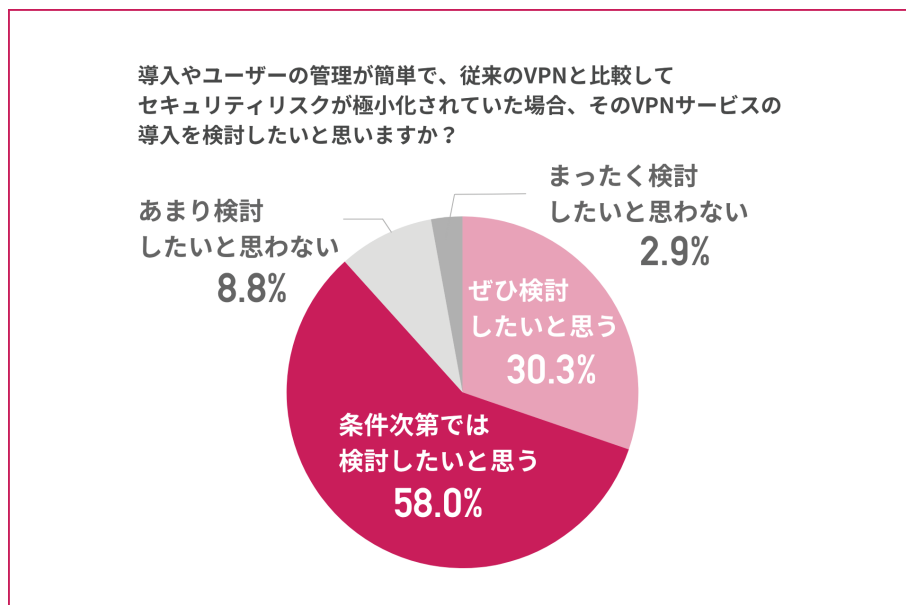
【図表 5 : VPN 利用時の管理課題と改善要望】



・ セキュリティと管理面を改善した VPN 導入への意向

最後に、「導入やユーザー管理が簡単で、従来の VPN と比較してセキュリティリスクを極小化できるサービスがあれば導入を検討したいか」と尋ねたところ、「ぜひ検討したい（30.3%）」「条件次第で検討したい（58.0%）」を合わせて約 9 割が前向きな姿勢を示しました。現行の VPN に対する課題感が強いからこそ、これからの VPN への期待が高まっていることが明らかになりました。（図表 6）

【図表 6 : セキュリティと管理面を改善した VPN サービス導入意向】



■ 総論：安全性と管理性を兼ね備えたこれからの VPN への期待

今回の調査結果から、VPN は企業において欠かせない存在である一方、セキュリティ不安や管理負担といった課題を抱えていることが明らかになりました。導入時に重視される「セキュリティ」「管理性」「簡便さ」という要素を満たし、現場が安心して利用できる次世代 VPN へのニーズが高まっています。

なお、本調査の詳細をまとめたレポートは、弊社製品サイトよりダウンロードいただけます。

調査レポートダウンロード： https://engage.cachatto.jp/wp11_cachatto

調査名：「VPN 利用実態とセキュリティ対策」に関する調査

実施期間：2025 年 9 月 9 日（火）～9 月 10 日（水）

調査方法：PRIZMA によるインターネット調査

対象：IT 管理者・情報システム担当者・DX 推進部門の担当者

回答数：1,011 件

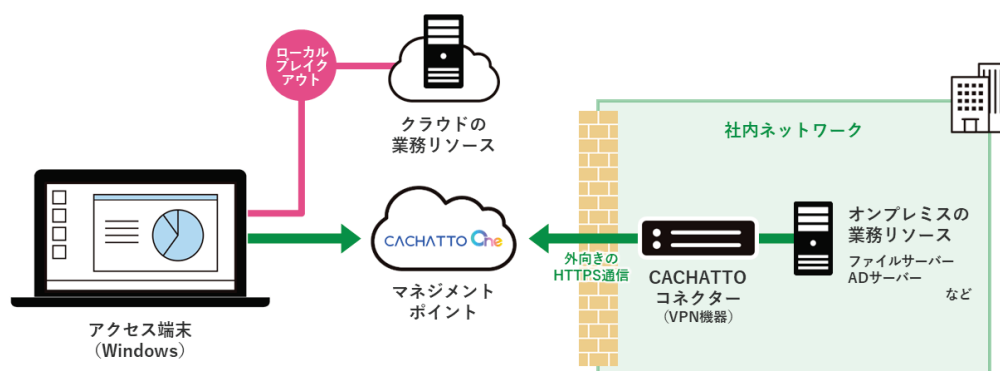
調査主体：e-Jan ネットワークス株式会社

モニター提供元：PRIZMA リサーチ

■ インターネットに公開しない、クラウド VPN サービス「ニンジャコネクト VPN」

今回の調査を行った e-Jan ネットワークス株式会社が提供する「ニンジャコネクト VPN」は、CACHATTO One 独自の通信技術、CACHATTO Private Connect（カチャット プライベート コネクト）を利用したクラウド VPN サービスです。CACHATTO シリーズでのノウハウを活かした「高セキュリティ」「簡単導入」を特長としています。手のひらサイズのコネクター（CACHATTO コネクター）を e-Jan ネットワークスが提供。お客様のネットワークに設置するだけですぐに利用開始いただけます。

【システム構成イメージ】



製品サイト： <https://www.cachatto.jp/ncvpn/>

■ CACHATTO について

「端末にデータを残さない」という特長により、テレワークにおけるセキュリティリスクを最小限に抑えられることが決め手となり、金融業界や自治体・官公庁など様々な業種で採用されている法人向けリモートアクセスサービスです。「スマートデバイス用リモートアクセスツール」市場および「セキュア・ゲートウェイ／ブラウザ」市場において 12 年連続トップシェアを占めています。〔累計販売実績：国内 1,700 社 80 万ユーザー超（2025 年 2 月現在）〕

製品サイト： <https://www.cachatto.jp/>

■e-Jan ネットワークス株式会社について

e-Jan ネットワークス株式会社は、2000 年 3 月に設立以来、「いつでも、どこでも、安全に」を標榜し、ハイブリッドワークプラットフォーム「CACHATTO One」および関連製品の企画・開発・販売・運営を中心として事業を展開しております。

代表者名： 代表取締役 坂本史郎

従業員数： 111 名（2025 年 4 月 1 日現在、パートタイム従業員含む）

URL： <https://www.e-jan.co.jp/>

※1「令和 6 年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」（令和 7 年 3 月 警察庁サイバー警察局）より引用

https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R6/R06_cyber_jousei.pdf

「令和 7 年上半期における サイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」（令和 7 年 9 月 警察庁サイバー警察局）より引用

https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R7kami/R07_kami_cyber_jyosei.pdf

「ランサムウェア被害にあった企業・団体へのアンケート調査」で「感染経路は VPN 機器」との回答数

令和 6 年度：有効回答 100 件に対し 55 件

令和 7 年上半期：有効回答数 45 件に対し 28 件

※ CACHATTO は、e-Jan ネットワークス株式会社の登録商標です。

※ 本リリースに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。